

2022年2月17日

長崎市議会議長  
井上 重久 様

陳情人

長崎市新地町 12-8  
新地湊市商店街会  
会長 大塚 哲



1, 陳情の趣旨

新型コロナウイルス (Covid-19) による、世界中の人命への脅威と経済への脅威の中、国民を守る為の政策を実行している事と存じます  
市としては1円の無駄をも排し、『誰一人とり残さない』とSDGsの考え方で市政を進めている事と思っておりますが、どうしても理解できない無駄だと思える案件が実行されている為、明確な説明を求めたい

2, 陳情項目

- (1) 不思議な入札案件の確認
- (2) 環長崎港夜間景観向上基本計画への疑問

3, 陳情内容

(1) 不思議な入札案件の確認について

特定の人物や組織が絡む入札案件で、開札落札後の異常な処理

- ・ 大幅な追加予算発生
- ・ 簡単に追加が承認される
- ・ 例：工事番号 33312026 33312027
- ・ この様な物が必要なのかも疑問 (必要性とコスト感)

工事内容 基本システム 当初設計と実際が違ったとの理由の様ですが

この手の設計において「事前調査実験無し」で設計はできる筈も無く、この様な無計画な予算が議会で承認される筈も無いと考えます

もし事前調査無しで設計予算組んだのであれば、あってはならぬ「ミス」又は「故

意」ではないかと疑念が生まれる

この主たる企画提案者は、「照明設計のプロ」ではなく「企画ビジネス」事業者です  
当該案件関係者は過去約10年にわたり、市内各所を「夜景ブーム」に興じてライト  
アップ企画を数多く実行してきたが、当初は「PSE」さえも不明確な輸入業者と組み照  
明器具を指定し設置したが、直ぐに故障しても「瑕疵責任」をも果たさず数年放置さ  
れ、その後別途予算で更新工事されたりした（市への損害を与えた）

この安易な計画、予算化、大きな疑問です

また近年、面出薫氏（LPA）による長崎夜景シンポジウムでは、その多くが「犯罪照  
明」とされ、現在この「LPA」による新たな設計企画に現場は置き変わりつつある

（夜間景観ワークショップ「長崎照明探偵団」参考にしてください）

これら面出氏以前のライトアップ企画は、異様な関係の元に企画計画が遂行され続けた  
証拠ではないか？

私は、何度も警告をしてきましたが「一切無視」されてまいりました  
毎年数千万～億のお金が10年間無駄に使われてきたとしか思えません

「予算感」「企画計画必要度」「設計クオリティ」全てが疑問です

特定サイトでの「世界（新）三大夜景」「日本（新）三大夜景」のランク欲しさ？

夜景とは何でしょうか？

長崎の夜景に「ハート？」「鳩座？龍座？誰も知らない見つけられない物」こんな物が  
必要ですか？

この御金をSDGs観点から福祉等へ使えたら、何人の市民が救われたでしょうか？

長崎市議会としてこの「大きな無駄使い」をどの様の考えでしょうか？

知らなかった？ 仕方なかった？

そんなレベルの話では無いですよ？

**【当該入札は、全く正常な入札だったのでしょうか？】**

明確な回答を御願い申しあげます

## (2)環長崎港夜間景観向上基本計画への疑問

大変立派な計画書である事と認識しております

当然「LPA」によるモノである事も理解しております

前記致しました「特定人物案件」とは別格である事も当然と承知致しております

しかしながら、この「基本計画」を盾に「ハート」や「星座？」さらに「星座？」案  
件を前記の疑問的手法にて実行した事は大きな疑問です

再度申します、「星座」は、「鳩 龍・・・」一般観光客が認識できますか？

これが「遠景？」でしょうか？単に「奇妙な演出」だと思いますが如何でしょうか？

「遠景夜景？」に、何故この演出が必要なのか理解できません

「入札方法異常」「表現認識異常」以外何物でもないと考えます

更に、基本計画にて施工された他案件に関しても担当であった長崎市景観室へ施工時から質問を続けて参りました

結果「景観室」には、景観を管理運営維持する能力が無い事が以下事例の様に露呈したと考えます

#### 事例①

・中華門ライトアップ施工完成と耳にし現場確認

照明器具設置はあるがシュート（向き）はバラバラである事現認し景観室へ質問したところ、担当者が現場で確認するとの回答

後日現場で待ち合わせ致しましたが、担当者曰く「どこが変ですか？」

この一言に呆れ果てました「無能の証拠」です

設置施工も「落札者へ丸投げ」で現場管理不能

申し訳無いが「落札者スキルも疑問」

どんなに立派な企画設計であっても、管理者 施工者のスキルが低ければ設計企画通りの物は完成しない

更に既に現在一部照明不点の状態となって数カ月経過しているが、管理者不在能力者不在の為不点のまま「放置」と成っている

無駄を生む連鎖が「担当部署の無能」により多数生まれている

「表面の形を作る事だけ」が仕事であって「中身は空」である

立派な文章書面の計画書も「誰かが作った物」を上手くキレイに纏めただけで、誰も中身を理解していない証拠である

他条例（歩行禁煙地区など）でも同様に「条例書面」は有るけど、どの様に履行されているのか全く見えません

『書面作る事が御仕事』としか思えません

#### 事例②

・基本計画書にある照明の基本的な考え方

『色温度』『グレア』『演色性』これを明確に記載されています

しかしながら・・・

『色温度』街の表現と共に意図として計画をと謳っていますが、街路灯や防犯灯など全く無計画としか思えません

この電柱には「5000K」程度の防犯灯が設置、直ぐ近くに「3000K」程度の防犯灯があるのが無計画である証拠

『グレア』まさにこれこそ「光害」の原点で前記した無計画な高色温度街灯や防犯灯は、とにかくキラキラ眩しい物が街中に次々増設されている

眩しい=明るい と勘違いしているのか？

『演色性』これも前記同様の無計画照明器具な為、「物の本来の色」の表現が出来ない器具が多数設置されている

基本計画書に明記されているにも関わらず、現状は全く異次元の事が実行されている  
これらは全て「景観室」等の管理者無能が為せること

夜間景観整備が「賞」受賞と言われているようですが「設計者の能力」への賞であり長崎市が浮足立っても意味が有りません

何故なら、前記致しました様に「理解も無い」「能力もない」「学ぼうともしない」

「現場確認も出来ない」等の状況ですから時間経過で、あっと言う間に「現場はボロロ」になるでしょう

皆様の生活域で好天の夜、外へ出て夜空が見えますか？

満天の星空が見えますか？

長崎市は、この陳情内容にある出鱈目な管理運営により

市中に意味不明な「星座」を設置し、地球自然の本当の夜景である星空を無計画なグレア照明により市民から奪った罪は大きい

今後もドンドン施工入札計画が上がっているようですが

**【今の状態で当該計画を進める事が正しい事と思われますか？】**

**【ここに記載した無駄の責任の所在は？】**

明確な回答を御願い申し上げます

今世界では「SDGs」唱え、市関係者の多くの方の胸元に立派なバッジが付いています  
基本理念理解されていると思いますが

『誰一人取り残さない社会』

前記の状況で無駄に使われた多くの予算でどれだけの「人」を救えたか？

考えてみてください

今回極一部の事への疑問ですが、「一事が万事」とも申します

誰の顔を見て、市政は為されているのか？

目線は何処でしょうか？

市民を見ているのでしょうか？

記載した事例の様に「意味を理解して実行したとは思えない事」が多々続けば

財政も環境も破綻します

血税を垂れ流しで利用しゴミを生んでいるだけですから！

政が「何の為」「誰の為」が見えない

意思の疎通が望めない街では、人口流出も止まりません

以上